

新入生への歓迎のことば（6月2日）

松が谷高校の制服を着て本校の校門をくぐった第40期生となる新入生の皆さん、入学おめでとうございます。松が谷高校は、皆さんを心から歓迎いたします。このたびは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、約2か月間も学校での授業や部活動などの教育活動に参加できず、新しい仲間にも会えず、皆さんは非常に不安な日々を送っていたことと思います。しかしこのような状況だからこそ、これを乗り越えようという新入生の皆さんの結束力がこれから高まっていくことを期待しています。御自宅に戻られたら、保護者の皆様には是非、今日の様子を伝えてください。

さて、これから新しい生活を始める皆さんに私から1つメッセージをお贈りします。

それは、「知性を磨きましょう」ということです。本校の近くにある多摩大学教授の田坂広志さんは著書の中で、『知能』と『知性』の違いについて、このように述べています。

「『知能』とは、『答えの有る問い』に対して、早く正しい答えを見出す能力」であり、「『知性』とは、『答えの無い問い』に対して、その問いを、問い続ける能力である」、と。

私はこれを読んでいて、なるほどと思いました。もちろん、『知能』も『知性』もこれからの皆さんにとって大切なものですが、私はこれからの社会では、後者の『知性』がより大切になってくるのではないかと考えています。なぜなら、社会の中では、『答えの有る問い』よりも、はるかに『答えの無い問い』の方が多いと感じるからです。

また、知能や知性を十分に発揮するためには、前提として『知識』の習得も重要となります。皆さんがこれまで学校で学んだことは、主に『知識』が中心だったのではないかと思います。この『知識』をどのように『知能』に結び付け、さらに『知性』にまで発展させるかは、皆さんの努力と心がけにかかっているのです。

人は『知識』と『知能』と『知性』が三位一体となってはじめて、充実した人生を送ることができるのではないのでしょうか。特に一段とグローバル化が進み、混迷を深める現代においては、『知性』を養い、それを磨くことが最重要課題と言えます。

皆さんもこれから始まる高校生活の中で、様々なつらい場面や苦しい立場に遭遇するでしょう。しかしそういった場合でも、『知性』を発揮して、常に明るく、否定的な言葉を使わず、プラス思考で乗り切って行きましょう。そうすれば、必ず結果はついてくるはずです。そんな松が谷高校の新入生である皆さんが巻き起こす新しい風に期待しています。

それでは、新入生の皆さんが、ここ松が谷高校で高い志をもって、充実した高校生活を送り、大きく成長されることを祈念して私からの挨拶といたします。

令和2年6月2日

東京都立松が谷高等学校長 博田 英明